

「若者が岩手で主体的に関わる ことを選べる環境をつくる」



黒沢 惟人 (ゆうと)
(奥州市)
NPO法人wiz
理事/COO

東日本大震災が20代、30代の若者世代にとって、大きな転機であったことは間違いありません。岩手に関わる多くの若者の「岩手や地元に戻り、行き、どうにかしたい、役に立ちたい」という気持ちを高め、戻る・行く(U・Iターン)、地元に残る(地元定着)という具体的な行動を促し、この5年間で地域の中でさまざまな事業や活動が生まれました。この流れは、震災以前の岩手の日常の中では生まれることは難しかったと思います。僕自身も震災で大きな転機をむかえ、岩手にUターンし、4年半になります。

僕は奥州市胆沢区出身で、水沢高校を卒業し、岩手県立大学ソフトウェア情報学部に進学しました。理由は当時ITに興味があったのと、県外へ出る怖さがあり、岩手から出たくなかったからです。しかし、大学在学中に僕より先に就職している地元同級生と集まる機会があったのですが、楽しさ、やりが

いを持って仕事をしている人が少ないと感じたのです。就職を考える時期になり、「岩手にはいたいが、このまま良いのか?」という疑問が強くなり、将来的なUターンを前提に上京を決意しました。

大学卒業後は、東京でシステムエンジニアとして仕事をし、社会人3年目になり、そろそろ岩手に戻るためのスキルアップ・準備を始めようかと考えていたところに震災が起きました。ボランティア活動も行いましたが、「戻るなら今だ」「仕組みづくりが重要だ」と感じ、岩手へのUターンを決意しました。当時は仕事としても震災復興には関わりたいと考えていて、そこで初めてNPOというものを知り、ご縁をいただきました。そして2012年1月からNPOの一員として、行政・民間と協働しながら、大船渡、大槌、釜石の仮設住宅の住民の方々を支援する事業の立ち上げ・運営を行いました。

僕がUターンして一番嬉しかったことは、「課題を捉え、解決するために前向きに行動に移す」同世代と数多く出会えたことです。2013年からは22名の仲間とともに「岩手×若手会議」という復興に関わる若者にスポットを当てたプレゼン・トークイベントを実施してきました。そしてその中の大船渡、陸前高田、住田で活動を行っている5名の震災後Uターン者でNPO法人wiz(ウィズ)を設立しました。

wizは「若手のネットワークで岩手を盛り上げる」、「岩手に関わる若者に、岩手・地元を将来的な選択肢として提供する」ことをミッションに次の事業を展開しています。

- 若者が出会い、つながり、アクションにつながるイベントの実施
- 実践型インタラクションシップのコーディネート
- 岩手特化型クラウドファンディング「いしわり」の運営



実践型インターンシップ中の活動風景

○ 地域おこし協力隊の採用サポートなどのU・イターン促進

この中の「実践型インターンシップ」と「いしわり」についてご紹介します。

僕たちがコーディネートする「実践型インターンシップ」は、主に大学生を対象とした1ヶ月以上の長期滞在型で、体験ではなく、実際のプロジェクトに関わり、成果・結果を求めるインターンシップです。なぜ、体験型ではなく実践型インターンシップを行うのか。それは「将来的に事業面で主体的に岩手に関わる若者を増やしたい」からです。岩手には、地域のために奮起している経営者が数多くいる

ことをUターンしてから気づきました。そして、僕自身の体験として、岩手でも自分のキャリアを築き、自己実現することができず。これらのことを岩手に関わる学生に知ってもらいたい。そのためには社員が中心となって対応する数日間のインターンではなく、経営者と共に考え、議論や行動を通じて、結果を出すことが大事だと考えています。

このような取組みは、学生たちが卒業後、すぐに岩手に就職、U・イターンしなくても、将来的にU・イターンし、地域の担い手として活躍する若者を生み出すことにつながると信じています。現在、5市町村で延べ10社、21名の学生をコーディネートしており、岩手県内で最大の実績と規模になります。

「クラウドファンディング」という言葉を聞いたことがある人はまだ少ないかもしれません。一言で説明すると、インターネット上で不特定多数の人たちから、資金を集める仕組みです。Wizでは岩手に特化したクラウドファンディングサイト「いしわり」の運営を行っています。岩手のために活動や事業を行う人たちの資金獲得と情報発信をサポートしながら、県外にいる岩手に関わりがある人たちが継続的に岩手や岩手で活動する人たちとつながることができる仕組みをつくりたいと考えています。現在、成功率は約9割、合計約1000万円を超える資金調達に成功しています。



クラウドファンディングサイト「いしわり」(<http://ishiwari.iwate.jp/>)

これからは若者のU・イターンをサポートする事業に力を入れていきます。現在は、行政と協働し、移住促進につながるフィールドワークや地域おこし協力隊の採用・活動サポートを行っています。今後は民間企業の経営者の右腕となりうる人材の採用をサポートする仕組みをつくり、より多くの若者が岩手の中で自己実現できる環境をつくっていきたくて考えています。